

おーいと呼んでください。いつでも、どこへでも、スグに駆けつけます!!

神戸市会 NEWS VOL.50

2013.秋号

民主党神戸市会議員団

■編集・発行:民主党神戸市会議員団

〒657-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号

TEL(078)322-5844 FAX(078)322-6161

ホームページ <http://www.kobe-minshu.jp>

安心・安全、住みよい須磨の街づくりに全力投球!

須磨区のために真剣です。

神戸市会議員(須磨区)

投
全
球
力

大井としひろ

第二回定例市会開会。

9月議会の決算特別委員会にて、会派を代表して、総括質疑を行いました。

秋たけなわの候、須磨区民の皆様いかがお過ごしでしょうか。

神戸市会第二回定例市会は、9月3日から99日間の会期をもってスタートしました。

9月議会は、平成24年度決算の審議が主な議案で、決算特別委員会では、会派の理事として委員会を取りまとめ、9月27日には今期で勇退される矢田市長に対し、会派を代表して総括質疑を行いました。(詳細は、下段をご参照ください)

文教こども委員会こども家庭局の審議では、須磨区JR鷹取駅前にあります「だいち学童保育センター」の保護者の皆さん、同ホームの改善を願って陳情が出され、当局に対し、委員として私からも環境改善を提言し、トイレの増設などの改善する旨の答弁を引き出しました。

A 矢田市長

観光コンベンションを神戸市の施策の中でも重点に据えてやっていかなければならないと認識している。観光振興を幅広い視点で捉え、全市を挙げて取り組むことが必要である。現状においては、関連する部局の長を集め、観光コンベンションビューローを設置し、私がビューローのトップとしてやってきたが、これからもさらに内容の強化に取り組んでいきたい。

先日、東京オリンピック、パラリンピックの開催が決定し、2020年には世界から日本が注目されるが、これをチャンスととらえ、五輪効果を神戸に引き寄せる戦略を練る必要がある。そこで、早く、関連部局の課長レベルを集めた検討会を先日開催し、当面の検討課題の議論と情報共有をしたところである。

要望

都市間競争に打ち勝つ観光施策の推進を行い、戦略的なビジョンを持ってやってほしい。

Q 老朽設備の更新について

先日の局別審査で、水道・下水道の経年管更新に関する状況や、市内の照明柱や天井板など、高度成長期に設置された構造物、インフラに関して、事故発生時の状況や原因分析、対処などについてお伺いをしたところである。

今後老朽化したインフラ設備の事故はますます危険度が高くなってくる。また、設備更新の費用も必要とされる状況である。

まずは、老朽化設備がどういう状況で、事故を受けての対策、今後必要となる施策等、市民への徹底した広報が必要と思われるが見解をお伺いしたい。



A 小柴副市長

ご指摘のとおり、橋梁あるいはトンネル等の道路構造物や上下水道設備については、高度成長期に整備されたものが多くの老朽化が進んでいると考えられることから、市民の安全・安心を守るまちづくりの一環として、今後、老朽化対策がますます重要となっている。

道路構造物については、当面の対策として、集中的に緊急点検及び補修等を実施し、安全性の確保を図っているところである。また、橋梁については、平成20年度に、トンネルにおいては、平成24年度に「長寿命化修繕計画」を策定するなど、中長期にわたり、道路構造物の安全性・信頼性の確保に努めているところである。

要望

この手の案件は、費用がかかるということを十分承知をしているが、やはり私たち神戸市、市議会もそうだが、市民の皆さんの安全と命を守るということは、やはり一番大きなテーマであるわけで、そういう意味からいうと、最近、須磨区の北須磨文化センターで天井から物が落ちたところである。ただ、人には当たらなかったので、不幸中の幸いではあるが、万が一、そこでバレーボールをしている子供たちがいたり、卓球をしている父兄、お母さん方がいたりなどして、万が一怪我をしたら、これは取り返しのつかないことになるわけである。

そういうことから考えると、お金がかかっても、危ないところは徹底的にチェックをしていただき、そして市民の皆さんにお金がかかるということをよく理解をしていただくような、そんな広報も必要だと思う。

市民の安心・安全を最優先にしていただき、一斉に危ないところは徹底的に対策をする。幸い、神戸市では起きていないが、やはりこういう人身事故はあってはならないことなので、ぜひ、そのところをよく考えていただき、もう少し前向きに、お金がないということだけでは済まされない問題なので、もう少し考えていただきたい。

市民に理解いただけるような広報をしていただくことを、よろしくお願いしたい。



※最新の活動報告は「おーいブログ」でチェック!!

大井としひろ

検索



■大井としひろのTwitter(ツイッター) KOBE_SUMA_001

決算特別委員会 総括質疑で会派を代表して、
大井としひろ議員が矢田市長と質疑を交わしました。
(一部を抜粋、以下質疑の要旨)

Q 三宮の大改造について

これまで、いつまでに、という議論がなかったと思う。

今回、2020年東京オリンピックの招致が決まり、工事のスピードについても議論が必要と考えるがどうか。



A 矢田市長

諸条件をベースにおきながら、周辺の商業者、団体と協議をして進める。

オリンピックに向けてというのは大事な視点だと思う。

周辺とうまくすり合わせて、スムーズに動けば、そういう状況が期待できるのではないかと思う。

Q ニュータウンのオールドタウン化対策について

須磨北部をはじめとした住宅団地においては、人口減少、高齢化によるオールドタウン化が喫緊の課題となっている。

局別のみならず総務局の審査でも今年度、府内の関係部局がプロジェクトチームを構築し、今後のニュータウンのあり方や対応策等について検討を進めると聞いた。

神戸市の発展のため、ニュータウンにおけるオールドタウン化問題について、抜本的な対策と大胆な見直しが必要ではないかと考えるが見解を伺う。

A 矢田市長

おっしゃるとおり建物そのものも今の住宅として存在しているものが果たして若年世帯の意向に沿ったものであるかと考えると決してそうは言えない。そういうところを順次協議しながら取り入れていく。そして投下した資本が有効に使われていくような形態を守っていくことが大変重要であると考えている。

一方、当然高齢化は進んでいくのでこれからその対策についても十分に視野にいれながら検討する。施設が必要であればニュータウンの中にそういうものもさらに増やしていくことも必要だろうし、一方で若年世帯に向けての環境や施設についても考えていくことも大変重要である。

要望

若い人が移り住んできただくよういろいろな施策が必要である。我々現役世代もお年寄りも子どもや障害のある人たちもみんなが一緒に住めるようなニュータウンにリニューアルを是非していただきたい。

できたら先ほど申しました、住民、NPO、事業者、行政のみなさんが、意見交換できるような、情報交換ができるような協議会をつくっていただけたらということを要望したい。

Q 観光施策の充実について

観光施策の司令塔が見てこない。2020年の東京オリンピック開催が決定されたことを受け、全市を挙げて観光施策を進めていく必要がある。

観光・文化・スポーツといった観光戦略を企画調整局で練り上げ、全庁をあげて観光施策を進めていくべきと考えるがどうか。